

2025年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	会計学特別研究
担当教員名	金子輝雄
科 目 の テ ー マ	テーマ：法人所得課税制度、企業会計制度、および両者の関係性に関する研究等、受講者と相談の上、テーマを決定する予定である。以下例示。 ○ 租税法理論に関する研究 ○ 新課税ベースとしてのキャッシュ・フロー法人税に関する研究 ○ SDGsの実現に向けた「企業会計におけるオルタナティブ」に関する研究 ○ 「確定決算基準」、「公正処理基準」等、企業会計と税制の関連性についての研究
科 目 内 容 ・ 方 法 等	前期課程とは違い方法論をある程度意識してもらいたい。ここでは、「納税者主権」としての「人にやさしい税法」の解釈、また「人間幸福」のための企業会計、ということを念頭に、現行の制度を批判的に検討する。テーマに関連する基本書に沿って研究を進める。以下使用文献例。 ○ 図子善信著『新税法理論』＜第2版＞成文堂 2025年 ○ イギリス財政研究所編『ミード報告』（1978年）『マーリーズレビュー』（2010年） ○ SDGsの会計：小栗・陣内『会計のオルタナティブー資本主義の転換に向けて』中央経済社 2022年 その他、関連する外国語文献や雑誌論文等を可能な限り参照したい。
評価方法及び評価基準：課題の進捗状況、質疑応答の状況等。 60点未満をF、60～69点をC、70～79点をB、80点以上をAとする4段階とし、C以上の評価に単位を与える。 A 評価 授業内容を応用できるのみならず、批判的にとらえることを含めて、当該理解をさらに発展させられること B 評価 授業内容の理解に基づいて、より広いケースにその理解を応用できること C 評価 授業内容について、概ね理解していること	